

競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2023年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. アスリートビブス 個人アスリートビブス（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでもよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集
 - 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始の20分前、棒高跳を除くフィールド競技の予選は40分前、決勝は30分前、棒高跳決勝は100分前とする。
 - 招集は招集完了時刻の10分前から行う。競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。
 - 他の種目と競技時刻が重なる場合には、最初の種目の招集時に招集所の審判にその旨を告げておくこと（両方の種目の招集をその場で受ける）。
 - 招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
 - 招集所は雨天走路内（100mスタート付近）とする。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。（ウォームアップ場使用上の注意 参照）
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。
6. 競 技 順 予選はプログラム掲載順とし、準決勝・決勝のレーン順・試技順は抽選による。
7. オーダー用紙 リレーに出場するチームは、予選については、事前に配布されたオーダー用紙に記入し、大会1日目の28日12:00までに招集所に提出すること。決勝については、オーダー用紙を招集所で受け取り、13:00までに招集所に提出すること。提出後の選手変更については、招集完了時刻（予選は1組目の招集完了時刻）の1時間前までに招集所を通して審判長へ申し出ること。それ以降の変更については、主催者が任命した医務員の判断がなければ認められない。
8. トラック競技
 - 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
 - スタートの不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格（レッドカード）とし、競技会からは除外しない。
 - ※予選・準決勝で与えられた警告は次のラウンドへ持ち越す。
 - 準決勝、決勝の場合、1レース8名で行う。1500mは15名で決勝を行う。
 - 次のラウンドへの進出者を決めるときに、同記録者があるときは、0.001秒まで判定して進出者を定める。それでも決められない場合、レーンに余裕がある時には、同記録者全員が準決勝・決勝に進めるようにする。それが不可能な時は、抽選とする。なお、該当者は、通告後5分以内に本部席前に集合しない場合は失格とする。
 - 男女200m、男子400m、男女4×100mは予選をタイムレースとする。
 - 男子3000mはタイムレース決勝とする。
 - 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - リレーのユニフォームは上下とも同一色を基本とする。色がそろっていれば、ランパン・スパッツ、ランシャツ・セパレートが混在していてもよい。
9. フィールド競技
 - 走高跳、走幅跳、砲丸投は予選を行う。予選通過記録は以下の通りとする。

走高跳	男子：	1m70	女子：	1m50
走幅跳	男子：	6m00	女子：	5m00
砲丸投	男子：	10m60	女子：	10m60
 - 共通走幅跳はメインスタンド前のピットで行う。男女1組はメインスタンド側、2組はトラック側のピットで行う。
 - 砲丸投男女1組は既存ピット、2組はバックスタンド側芝生ピットで行う。
 - 予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、予選12位までの者で決勝を行う。

○走幅跳、砲丸投・円盤投の決勝は3回の試技の結果、上位8名は更に3回の試技が与えられる。

10. バーの上げ方	男子走高跳予選	150	155	160	165	170						
	男子走高跳決勝	165	170	175	180	185	188	以後3cm				
	男子棒高跳決勝	220	240	260	280	300	320	340	360	370	以後10cm	
	女子走高跳予選	125	130	135	140	145	150					
	女子走高跳決勝	140	145	150	155	160	163	以後3cm				
	女子棒高跳決勝	200	220	240	250	以後10cm						

(当日変更する場合もある)

11. スパイク トラック種目・走幅跳・棒高跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。

12. シューズ 靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。
800m未満のトラック種目・フィールド種目 20mmまで
800m以上のトラック種目 25mmまで

13. 表彰 ○男女とも総合優勝には賞状・優勝旗、2～8位に賞状を授与する。
○各種目の1～3位にメダルと賞状、4～8位に賞状を授与する。
○学校対抗とし、1位8点、2位7点・・・8位1点とする。同点の場合は、上位入賞者の多い学校を上位とする。
○各種目入賞者は、競技終了後係員の指示に従い、表彰席へ移動する。
○表彰は本部席前で行う(天候によって会議室に変更する場合がある)
○表彰に参加できない場合は、顧問が記録室に賞状を取りに来ること。

14. その他 ○当日の選手変更は一切認めない。
○関東大会出場者については、県春季大会(四種競技)、通信陸上競技大会と総合体育大会の結果で強化委員会が決定する。
○本大会の男女リレーの優勝チームは全国大会に出場できる。また、上位3位までのチームは関東大会へ出場できる。
○当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。学校からの出場種目が片方の日だけでも両日審判員として参加すること。
○競技する選手・補助員以外は、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
○大会中はアスリートビブスをADカードの代わりとする。
○ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
○応援横幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。
○テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。強風で飛ばないように気をつけて設置すること。
○ウォームアップ場には、設置してある用器具以外、持ち込まないこと(ただし、ピストル・バトンを除く)。投げる行為は禁止とする。
○中学生は携帯電話等の電子通信機器を競技場内では原則として使用しないこと。
○トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する7・8・9・10・11チャンネルの使用を禁止する。
○熱中症予防のため、選手は適宜水分補給を行うなどの体調管理に気を付けること。
なお、競技前に具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。
○待機する生徒についてもこまめに水分を取り、日陰に入るなどして適宜休憩をとること。なお、具合が悪くなった生徒は、近くの審判員に声をかけ、指示を仰ぐこと。